

平成30年7月豪雨災害に係る意見交換会【船木地区】 質疑応答の概要

日時：平成30年11月27日（火） 19時～21時

場所：旧船木小学校 ランチルーム

発言順	質問	発言者	回答・発言要旨	備考
1	今回の集まりが最後か。 町内会員に今日の内容を伝えて回らないといけない。	市	県のあり方検討会で検討結果が示された後、説明会開催予定。 今日の資料は回覧する予定。	
	船木は集会をする場がない。川上西の集会所は修繕に500～600万かかる。被災した方に負担してもらいたい。	市	集会所修繕の補助金は、アンケート等を参考にさせてもらった。400万円を上限に、補助率は9/10。	
	連合町内会が解散してしまう。船木は特別な地域だ。空環境のお金を船木に使って欲しい。	市	空環境の補助対象が狭まった。市地域企画課から説明させます。	
	今年の3月に船木コミセンからサイレンが撤去されている。	市	平成11年に設置されたのは確認したが、合併時には機能をなしていなく、平成25年からは災害時一斉情報伝達手段に切り替え、避難情報を各家庭で聞けるようにしています。	
	集会ができるような方法を検討して欲しい。会合もできない。なぜふれあいセンターが使えないのか。	市		
2	平坂には避難場所がない。集会所を兼ねた避難所を設けてほしい。町内会は高齢化率50%を超えており、高齢者ばかりの中、負担金を出して欲しいと言うのは厳しい。	市	被災した施設の現状復旧に係る新設の補助は、上限額400万円、補助率9/10としている。	
	人家から離れたところに大規模な土砂崩れが4ヶ所くらいある。早急に復旧をお願いしたい。 今決まっているところがあれば教えて欲しい。	市	市内約500箇所崩れている。公共事業で実施できるだろう箇所が70箇所程度。 国有林は今年度10ヶ所程度、広島県からは砂防堤防10箇所程度、市では23箇所を何とかしたいと思っている。 人家から離れた4ヶ所については、現地を確認しないと断言はできないが、治山事業での対応ではなく、県税（県の森づくり事業）を活用して実施していきたい。 また、今後実施される森林環境税も活用していきたい。	
	農地について、土砂の撤去作業が来年の稲作に間に合うか。	市	1,200箇所程度被災しており、900箇所程度対応する事があると思う。現在、国の査定を受けており、年内に800箇所査定を受けたい。 3ヵ年での復旧を考えており、来年の稲作を断念してもらいたくないといけないこともある。 協議、調整しながら進めていきたい。	

	農地の土砂撤去、住民負担はどの程度か。	市	復旧工事の額が1箇所40万円以上は2%、13～40万円は20%、13万円未満は自主復旧。公共災害の復旧事業の恩恵にあずかれなかった方は5万円の義援金を交付したい。	
3	ヤマト実業の寄附金1,000万円はどのように使われましたか。	市	船木の地域振興に使うって欲しいということで寄附された。まだ具体的な使途は決まっていないので、今後地元と協議しながら検討していきたい。	
	今後の義援金はどうなるのか。	市	第2次義援金まで配分されている。第3次配分の情報がないので、詳しい事はわからない。	
	子どもの乳児医療証や予防接種の券が全て流されて、一度市に問い合わせして、折り返し連絡すると言われてそのままなのですが。	市	母子手帳は保健福祉センター、乳児医療証は子育て支援課で再発行できる。後ほど、手続き等連絡させてもらう。	
4	水害を恐れるだけでなく、日ごろから親しめるように、沼田川において、堤防強化にあわせて、親水性に配慮した整備を要望する。	市	沼田川の堤防の補強等の対策や高水敷の環境整備について、地域の要望としていただいたことを県に伝える。	
	菅川の合流のところに土が残っている。地元の意見も聞きながら対策を取っていただきたい。	市	菅川合流付近の沼田川にまだ土砂が一部残っているとのご懸念について、引き続きしっかり対応していただくよう、県に伝えていく。	
	三原市が広島県に対し、今後、災害が起きない対策をしよう求めて欲しい。	市	地域の要望としていただいたということを県にしっかり伝えて、県と市が連携して取り組んでいく。	
5	船木に産業団地ができるが、その中で作られる公園の中に建物が建てられればちょっとした避難所になるのでは。	市	緑地の活用で避難場所、建物について県に要望を伝え、協議して検討していきたい。	
6	真っ暗で大雨が降っている中、低いところを通過して避難するのは不安なので、近くに避難所ができるよう、希望を持てる方向でお願いします。	市	安心して避難できる避難所、県と協議して検討していきたい。	
7	船木ふれあいセンターの後は、1ヶ月くらいできれいにならないか。	市	床上浸水しているので、一部の部屋にカビが生えている。物資を置いていた関係で、しっかりとした清掃に入れてなかった。今月末には清掃に入るので、いつから使えるかと言うのはまた連絡させてもらいたい。	

8	ありかた検討会の現状は。	市	計3回開催される予定。12来月に3回目が開催される。 主な発生要因として、経験したことのない大雨が降ったことと本川の流下能力が不足していたこと、支川については本川の水位が上がったことにより、それが影響して越水したこと、菅川の橋梁のところで堰上げがあったのではないかということに関して議論されている。また、発生要因を踏まえた対策の大きな方向性として、沼田川本川の水位を下げることを優先することや低い堤防の嵩上げや破堤しづらい堤防の構造にすること等が議論されている。	
	今の沼田川は昭和30年代からだんだん堆積土が出てきた。昭和20年や昭和36年は堆積土がなくても決壊が起きていた。よく検討、検証していただきたい。	市	意見のみ。回答不要。	
9	カウンセリングルーム「ここケア」開設以来、使用された方の人、地域などのデータがあれば教えていただきたい。	市	8月から実施しており、月20人の枠だが、毎月少しずつ増えている。 船木地区や本郷地域などのデータを持ち合わせていないため、帰って確認する。	
	サンシーや西町でカウンセリングがあると言っても余裕がない人はまず行かない。 船木地区を拠点にして取組みの1つ2つくらいは検討していただきたい。	市	地域支え合いセンターを被災地域に設置している。本郷保健福祉センターにも保健師が常駐しているのでしっかり連携を取りながら、取り組んでいきたい。	
		市	定期的に行われている元気を出そうかいに市の保健師や地域支え合いセンター職員が出向いて健康相談コーナーを設けた。地域支援センターとの連携により、心身の相談の場所についても検討していきたい。	